

No.	実施主体		事業名	事業の概要/進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
1	(特活)エコプラザさばえ	安全環境部 循環社会推進課	ダンボールコンポストを利用したごみの減量化推進事業	1 畑や庭のない世帯にモニターを拡大し、ダンボールコンポストを利用した生ごみの堆肥化を推進 ・モニターへの参加 【説明会43回開催 モニター318名参加のうち24名が畑・庭のない世帯】 ・フォローアップ講座 【9回開催 74名受講】 ・たい肥化アドバイザーのスキルアップ研修 【15回開催】 ・ダンボールコンポストの有効活用 【9/7 ダンボールコンポストを利用した菜園講座 27名】 2 たい肥化アドバイザー派遣、たい肥化ガイドブック作成により、全県的に普及 【たい肥化アドバイザー養成 10名】 3 普及啓発活動 【8/11 さばえ環境フェア2012に出展】	2,053
2	(特活)エコプランふくい	安全環境部 環境政策課	再生可能エネルギー普及促進事業	1 太陽光発電の情報提供事業 ・太陽光発電設置相談窓口の開設 【7/2～ 6件(10/31現在)】 ・消費者セミナー開催 【7/29 「電力買取制度下での再生可能エネルギー普及」 42名】 ・太陽光発電設置に関するガイドライン作成(施工事業者向け) 【8/2 施工ガイドライン作成に係る小委員会設置準備】 ・施工事業者対象 技術講習会 【5/17 62名】 ・相談員派遣による太陽光発電設置に関する個別相談【10/22 現地点検1件】 ・安価な太陽光発電メンテナンス制度の導入 【6/1～個人会員募集開始 会費:2,000円/年 47名(10/31現在) メルマガ配信(個人会員向け、太陽光発電設置事業者連絡会向け) 8/13～ 毎月配信】 ・個人会員募集チラシ 【2,000部】 2 再生可能エネルギー・地球温暖化問題講師派遣 ・講師養成講座の開催 【8/18 34名、12/1 節電①、12/8 節電②】 ・講師を小学校、公民館等へ派遣 【風車発電、節電教室、くだもの電池、環境紙芝居など 27回 775名】 3 再生可能エネルギー全般の情報提供 ・再生可能エネルギー市民ファンド勉強会 【8/3 25名】	2,500
3	(特活)アントレセンター	産業労働部 産業政策課	女性と若者のための創業支援事業 「YALOSSA(やろっさ)！」	1 起業を目指す者、起業した者相互のフェイスブックを活用した情報交流 【登録者数:128人(10/31現在) 目標:9月末 200名】 2 起業を目指す者の業種別、創業段階別のリアルの交流会、勉強会 【5/26 交流会 in 富山 富山県の若手起業家等15名、福井県の女性起業家17名 9/24 勉強会・交流会 14名 講師:竹本拓治(福井大学産学官連携本部准教授)】 3 商品開発や販路拡大のための起業成功者による直接・間接サポート 【起業相談件数:約130件】	1,000
4	(特活)ふるさと福井サポートセンター	観光営業部 ふるさと営業課	福井県帰住希望者のための新たな定住環境の整備と生活サポートを目的とした地域のつながり力強化推進事業	東日本大震災被災者を含むUIターン者の定住促進を図るための各種事業の実施 1 定住者を受け入れる地域での空き家の発掘・登録 【空家見学ツアー 年4回 ①6/30 7組16名参加(県内13名、県外3名) 空き家7軒 ②10/13 6名参加】 2 県外の移住定住相談会等での対応 3 活動内容の周知(HP、定期会報)【HP随時更新、「ふるサポ通信」発行 年4回(①7月、②秋)】 4 定住後の生活全般に渡る相談窓口の設置【7/28 定住サポート実施】 5 産業創出による定住者の雇用確保を支援 (例)農家レストランの開業支援 6 モデル地域で得たノウハウの全県への伝達 7 殿下地区が行うショートステイへの協力(美浜地区で1泊2日の受入れ)【8/5～6】	2,500

No.	実施主体		事業名	事業の概要／進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
5	(公財)福井観光コンベンションビューロー (特活)ドラゴンリバー交流会 (社)福井青年会議所	土木部 河川課	水辺を活かした県都のまちづくり事業	1 体験教室の開催 ・川に学ぶ体験教室(スローロープ救助、川歩き、川遊び、川流れ体験、水生生物の観察等) 【8/21 60名】 ・Eボート川下り体験教室 【10/13 42名】 ・魚釣り教室 【10/20 59名】 ・雪遊び体験教室(堤防や河川敷を利用したソリ遊び、スノーシュー体験など) 【1/12 約50名予定】 2 足羽川堤防沿いに手作り行灯100基を並べたライトアップ「光福のみち」の実施 【4/14 来場者:約100名】 3 地元農家と連携し、地産食材を提供する特設市「ふくいマルシェ」の開催 【4/14,15 9店舗出店 来場者:約9,000名】 4 高校生によるまちづくり懇話会の開催 【4/14 「住みたいまちってどんなまち」～ふくいの魅力を考える～ 14名】 5 HPによる情報発信 【9月～ 情報の収集整理】	2,700
6	(特活)福井県子どもNP Oセンター	教育庁 義務教育課	放課後子どもプランにおける新たなプログラム開発および放課後子どもコーディネーター研修事業	1 子どもの成長発達を促す直接体験プログラムの実践と効果の検証(7本) ① ワクワク!粘土アート 【5/13 28名参加】 ② まちをあそぼう! 【5/22～ 延べ47名参加】 ③ エコを学ぼう!自然と話そう! 【6/3、10/27 112名】 ④ 福井版フードマイレージ買い物ゲーム【12月以降実施予定】 ⑤ パティシエしてみよう! 【6/14～ 延べ28名参加】 ⑥ 木田ドラマキッズ 【6/16～ 延べ49名参加】 ⑦ プレーパークであそぼう! 【10/12～14 600名参加】 2 プログラムを県内各地域で実践する人材(放課後子どもコーディネーター)の育成 【9/25、26 放課後子どもコーディネーター研修事業 講師:嶋村 仁志 福井市 172名、敦賀市 61名】	2,500
7	(特活)ふくい災害ボランティアネット	総務部 男女参画・ 県民活動課	東日本大震災による被災者・被災地復興支援事業 <震災対応案件>	1 被災児童の学習支援 【8/23～26 出張寺子屋 福大生等10名】 2 農作業支援、傾聴ボランティア等の派遣 【①4/1,2 現地でのお楽しみ会や交流会 18名 ②5/2～5 ガレキ撤去、高齢者世帯慰問など 23名 ③8/23～26 りんご農園の作業支援 福大医学部生9名 ④10/19～21 りんご農園の作業支援、高齢者世帯慰問など 32名】 3 陸前高田市産の復興グッズ・農林水産物の各種イベントでの販売、専用HPで販売 【復興支援りんご販売 9～11月、念珠・ブレスレットなど復興支援グッズのネット(アマゾン)、 県内各地のイベントでの販売】 4 被災地から直接仕入れを行う県内の事業者等の開拓 5 原発災害被災地へ福井県産の食材を提供 6 原発災害被災地の親子のサマーキャンプ 【7/25～31 35名(大人2名、子ども33名)】 7 ボランティアとの交流会を含む陸前高田市の被災者リフレッシュツアー 【7/27～29 41名 ※チームふくい(ボランティア)31名】	4,000

No.	実施主体		事業名	事業の概要／進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
8	殿下被災者受入委員会	観光営業部 ふるさと営業課	東日本大震災被災者のための「第2のふるさとふくい」事業 <震災対応案件>	1 空き家の改修、移住者へのアフターケア 【7/15 空き家を改修した被災者コミュニティハウス「殿下未来工房」完成 地区住民、学生、建築組合などボランティア延べ97人が協力】 2 福島県在住の子供たちを対象としたサマーキャンプを実施(夏休み) 【①7/24～31 25名(子ども18名、大人7名)参加 学生ボランティア6名が協力 ②8/1～8 45名(子ども37名、大人8名)参加 学生ボランティア5名が協力】 3 首都圏で定住説明会を開催し、殿下の暮らし体験ツアー実施 4 移住相談への対応 【5/8 1名】 5 定住希望家族の就職あっせん、起業支援 6 定住被災児童への支援 【7/27～29 元パラリンピック水泳金メダリストによる水泳指導(サマーキャンプ②)等 10月～ 福島から殿下地区にホームステイしている女兒の両親が殿下で生活を開始】	4,000
9	(特活)たんなん夢レディオ	総合政策部 情報政策課	豊かなIT社会の構築事業	1 高齢者対象のフェイスブック入門講座を実施、地域の高齢者のITリーダーとして養成 【5/15～「高齢者のためのフェイスブック入門」全6回(事前トライアル講座を含む。)開催済 99名】 2 小学校低学年を対象に業界第一人者によるプログラミング教室 【5/27～「親子で学ぶプログラミング講座」全5回(事前トライアル講座を含む。)開催済 親子34組】 3 1、2の成果発表会 【11/11 USTREAMで配信、たんなんFMラジオで放送】	1,021
10	(特活)森のエネルギーフォーラム	安全環境部 環境政策課	越前市大滝地区小水力利用モデル事業	1 地区住民等で「大滝小水力利用協議会」を設立、発電設備導入の合意形成、事業計画立案 【5/29 設立総会、7/10 地元説明会、8月～ダム流量調査、11月～発電設備実証実験】 2 自然エネルギーを活用した地域活性化策に関するシンポジウムの開催(住民対象) 【11/10】 3 小水力発電に関する情報提供、導入支援(相談員の個別派遣) 【6/5 HP公開】	2,700
11	(特活)ふくい科学学園	健康福祉部 長寿福祉課	昭和の科学・文化映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動	1 昭和の「科学・文化映画」を媒介に高齢者と児童の世代間交流 【3公民館で、各年4回開催 延べ12回中7回開催 ①6/16 春山公民館「カルピスの誕生」、「カルピスを使った光の実験」65名(児童54名、高齢者11名) ②7/1 松本公民館「カルピスの誕生」、「カルピスを使った光の実験」78名(児童45名、高齢者20名、高齢者以外の大人13名) ③7/17 春江西公民館「つよい骨とよわい骨」、「手作り顕微鏡で観察」51名(児童31名、高齢者20名) ④7/21 春山公民館「琴作り50年」、「振動と音の実験」69名(児童59名、高齢者10名) ⑤9/29 松本公民館「つよい骨とよわい骨」、「水レンズ顕微鏡」48名(児童27名、高齢者17名、高齢者以外の大人4名) ⑥10/12 春江西公民館「つよい骨とよわい骨」、「手作り顕微鏡で観察」39名(児童31名、高齢者5名、大人3名) ⑦10/13 春山公民館「新幹線物語」、「まさつのない装置で運動の実験」24名(児童14名、高齢者7名、大人3名)】 2 高齢者がグループを結成し、映写会(交流会)を実施できる体制づくり 【9/20 松本公民館での交流会の実験に必要な材料を、高齢者10名が事前に自主的に集まり製作】 3 高齢者の生きがいづくりをテーマとして講演会の開催 【11/10「人が健康になる！とっておきのお話し」長野県健康生きがいづくり協議会 中嶋研二】	2,161

No.	実施主体		事業名	事業の概要／進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
12	(特活)コラボNPOふくい	産業労働部 産業政策課	ふくい地域活動応援ファンド事業	<p>1 地域活動企業（コミュニティビジネス、地産地消レストラン等）、NPO等の資金調達支援のため、企業、個人から寄付を集め、配分（福井・あわらを中心） 【8/7 （公財）京都地域創造基金を視察 9月 会議体で、京都方式をアレンジした「福井県版ファンド」、事業説明パンフ、寄附申込チラシの原案を協議 10/15 第1回ふくい地域活動応援ファンド協議会】</p> <p>2 寄付に対するリターンの提示、ウェブによるオンライン寄付、寄付使途報告書の作成等を試行 【11/12～25 本事業の愛称募集 11/24 コミュニティファンド立上げセミナー 講師：(特活)パブリックリソースセンター 事務局長 岸本 幸子 1月～ 寄附募集のウェブサイト稼働予定】</p>	2,500
13	(一社)三國會所	観光営業部 観光振興課	三國湊-敦賀間 海の観光ルートおよび教育プログラム開拓事業	<p>1 海を活用した新たな広域観光ルート(三國湊-敦賀間クルーズ)を開発し、嶺北・嶺南間の交流を促進 三國湊→(クルーズ:2時間)→敦賀港→敦賀まちなか散策→敦賀駅→(JR)→福井駅→(えち鉄)→三國港駅→三國まちなか散策 ※敦賀港発の逆コースあり 【7/20 試乗会 12名、全3回 ①7/29 54名、②8/5 51名、③8/19 45名】</p> <p>2 クルーズ運行に携わるメンバー等を対象とした研修会の実施 【7/6 「日本海で見られる鳥や魚などについて」 14名】</p>	2,500
14	しらやま振興会	安全環境部 自然環境課	コウノトリを育む事業	<p>1 コウノトリ育み隊活動事業 ・地元住民等を対象としたコウノトリの定着に向けた講習会の開催【17回 484名】 ・地域の子供たちの意識向上を目指し、小中学校への出前講座の開催【3回 214名】 ・コウノトリの語り部育成【6/13 8名】 ・他県、他団体等との交流会の実施 ・飼育繁殖環境の保全(ゲート管理)【4/9～ 5箇所ゲートの管理を地元町内会に委託】 ・コウノトリ育み隊隊員募集(200名目標) 【6/2～ 募集チラシ配付 隊員49名(9/25現在)、隊員手帳作成 11月末完成予定】</p> <p>2 コウノトリとの共生事業 ・餌募金による餌購入【69,719円 講座開催時等に募金実施】 ・コウノトリ「幸せ」ポストの実施(地元郵便局が実施)</p>	2,500
				合計(県分)	34,635

No.	実施主体		事業名	事業の概要／進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
1	どまんなか協議会	福井市	中心市街地(順化地区)における恒常的な賑わい創出とその担い手育成事業	1 若手経営者を対象としたセミナー、若手経営者が案内役となるまち歩き、情報紙の発行等 【8/4 歴史ガイド付きまち歩き3コース23名参加(どまんなか老舗の魅力堪能コース11名、こだわり珈琲店美味巡りコース4名、片町界限プロの技巡りコース8名)、情報誌「どまんなか便り」発行 vol13(6月号)2,350部、vol14(7月号)2,350部、vol15(9月号)3,680部、vol16(10月号)3,680部】 2 来街者向け情報発信 ・スマートフォンによる情報発信 ・福井工業大学と連携した商店街を題材とするショートフィルムの制作 3 地元映画館との連携 ・どまんなか館での開催事業、映画情報を相互に来場者に提供 【5/3 どまんなか館正面でキッズデイ開催:お楽しみくじ、スーパーボールすくい 映画館にポスター、チラシを置き、映画帰りの親子をどまんなか館に誘導 年間 映画館に「どまんなか便り」等を置き、来館者をどまんなか館に誘導】 ・商店街のクーポン付チラシを作成し、映画館来場者に配布 【年間 映画館に順化地区の店舗地図、割引券を常時チラシボックスに置き、来場者に配布】	2,500
2	勝山市区長連合会	勝山市	市民と一体となって雪を克服し、雪に親しみ、雪を活用するまちづくり	1 23年度に収集した基礎データ(市による除雪ができない路線に係る対応状況調査、市民を対象とした除雪に関する総合アンケート)を基に公助、共助、自助の連携による総合的な克雪・利雪・親雪計画を作成 【12月 議会で「克雪・利雪・親雪計画」を承認(予定)】 2 23年度にモデル地区で実施した克雪・利雪・親雪事業の成果を検証し、市内全域で事業を実施 【7月～ 今冬、市内全域で実施するモデル事業(実証実験)の調整(克雪モデル事業) ・災害要援護者、独り暮らし高齢者宅の屋根雪下ろし、玄関先等の除雪 ・狭隘道路の雪押し場確保等による除排雪 ・狭隘道路の簡易消雪(サニーホース、鋼管) ・路線による一斉雪下ろしと排雪 ・流雪溝の管理員会等の設立、調査(利雪、親雪についてもモデル事業を実施)】	2,500
3	(特活)小さな種・こころ	鯖江市	農産物の生産並びに販売における障害者雇用推進事業(チャレンジド・ファーム)	1 「チャレンジド・ファーム」で農業指導員が障害者に農業技術を伝達 【4月～ 指導者の下でチャレンジド4名の農作業研修】 2 「チャレンジド・ファーム」で生産した農作物を地元レストランで調理・加工、ファームメイトへ販売 【コミュニティレストラン「こころ」で調理・加工、野菜出荷 ①6/8～ JAたんなん野菜市場 ②7/1～ ハーツ鯖江店 4/10～ ファームメイト募集、ファームメイトへ野菜配送 2回実施 8/1～ 六次産業化を目指して自前の農産物を使った「こころカレー」の試作 レストランの新メニューに追加+冷凍してスーパーに売り込む計画】 3 普及啓発 ・ブログ、フェイスブック、各種イベントに出展 【ブログ・フェイスブック 随時更新 以下のイベントでチャレンジドファームのPR ・5/16 「無農薬音楽」ふれあいコンサート ・8/18 ハーツ鯖江店のイベント ・8/25,26 ふくいまるごとフェスタ ・9/25 ファームの農産物を使った料理教室】 ・丹南高校生に対し、農作業体験プログラムおよび料理教室を実施し、食育を啓発 【丹南高校生による農作業体験 7/9 32名、9/14 30名】	2,000

No.	実施主体		事業名	事業の概要／進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
4	越前市国際交流協会	越前市	国際化が進む越前市における各種情報の「やさしい日本語」化推進事業	<p>1 やさしい日本語を学ぶ研修を実施し、普及リーダーを養成 【11月～ 「やさしい日本語まなびの場」シリーズ講座：外国人ゲストを招いた実践講座 11/25 ～やさしい日本語ワークショップ～ 日本人と外国人が共に考える「伝わるお便り」】</p> <p>2 災害時緊急情報を中心とした各種生活情報を「やさしい日本語」に変換し、外国人の理解度を調査 【外国人利用の多い公民館の「利用の注意」を「やさしい日本語」に変換した他、外国人向け注意文(例)セロテープは壁に直張りしない等や公民館の意味を追加】 【理解度調査 中国人実習生 44名、ブラジル人 122名 ※ボランティア33人を動員して調査 9/3～14 大虫地区丹生郷町のお便り(2点) ブラジル人 8名 他、期間中を通して、日本語教室の外国人生徒に対し理解しやすい語彙等の聞き取り調査を実施】</p> <p>3 「やさしい日本語」定型文、「やさしい日本語」への変換マニュアルの作成およびHPへの掲載 【9/3 日本語アドバイザー会議にて、モデル地区特有のお便り(公民館利用の注意等)の他、生活に密着した情報(防災訓練やゴミ分別の方法等)の書換えを進めることに決定 10/17 書換え基準：日本語検定4級～3級レベルに設定することを決定。レベルの確認作業 地域の社会的背景について母国語で説明文を付加することを決定 主な生活情報(例)外国人向けゴミ分別情報 の書き換えを進める】</p>	2,587
5	若狭町次世代定住促進協議会	若狭町	次世代の定住促進事業	<p>1 今、住んでいる人に住み続けてもらう事業 ① 保護者向け説明会 ② 若者の定住促進に関する研修会 ③ 学生へ「住みやすさ」のPR活動、情報提供 【5/25 関東の大学等へPR活動、6/14～ HP、メルマガで移住や就職、婚活情報を発信 8/11～16 Uターン支援情報掲載(CATV)、9/15 企業PRトーク 70名(学生や学校の進路指導担当者に町内企業の取組みを説明 10/11～ 町内企業訪問 上中地域 80社】</p> <p>④ 小中高生・保護者を対象とした職場・事業所等の見学会、職場体験等 【地元企業見学会 8/18 4社 中学生15名、8/28 3社 中学生11名 9/16 ワークフェア 来場者数 5,630名(町内企業の取組みを紹介、製品の性能を試すコーナーの設置等)】</p> <p>⑤ 婚活セミナー開催 【10/13 婚活イベント「恋の大捜査線」 参加者 40名 カップル成立 7組】</p> <p>2 県外在住者に新たに定住してもらう事業 ① 東京、大阪での定住相談 【7/28 若狭町フェア出展 ふるさと回帰フェアに若狭町ブース出展 東京会場：9/17 80名、大阪会場：9/29 80名】</p>	2,260
6	「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会	敦賀市	鉄道と港の歴史資産を活用したまちづくり事業	<p>北陸新幹線金沢開業や舞若道全線開通を見据えた鉄道と港の歴史資産を活用した市民参加型まちづくり事業</p> <p>1 金ヶ崎周辺の鉄道や港に関する史料収集(古文書等の収集、市民からの情報収集) 【7月 金ヶ崎鉄道棧橋の復元測量に向けての資料収集】</p> <p>2 金ヶ崎周辺の鉄道や港に関する歴史研修会の開催 【6/23 市民歴史講座「敦賀の鉄道は面白い」～鉄道と港の歴史を生かしたまちづくりの基礎～ 100名、7/21 市民歴史講座「敦賀港と鉄道の夜明けが結ぶ現代へのレール」 80名 8/25 SLに関する歴史研修兼SL清掃奉仕作業 50名】</p> <p>3 市民参加体験型測量イベントの開催(明治後期～昭和初期当時の金ヶ崎周辺の地形や遺構調査、測量) 【9月 事前測量、10/20 測量イベント 40名 ユダヤ人敦賀初上陸地点の特定～今後、プレート埋込み等を行い、敦賀を代表する観光資源としてPR】</p> <p>4 遺構にプレートの設置を検討</p> <p>5 金ヶ崎周辺の体験観光ルート開発に向けた基礎資料の作成</p>	2,160

No.	実施主体		事業名	事業の概要／進捗(10月末まで)	事業費 (千円)
	民間団体	行政			
7	(特活)WACおばま	小浜市	協働のまちづくりにおける地域担い手育成事業	<p>1 新しい公共の担い手となるまちづくり委員会（市内全12地区にある地域住民を構成員とする地縁団体）のスキルアップ事業（講習会、学習会）</p> <p>【7/5 協働のまちづくり推進連絡会議 10/4 先進地（滋賀県近江八幡市）視察の事前勉強会 協働のまちづくりにふさわしい地域拠点のあり方の調査・研究 10/5 まちづくり研修会「資金獲得と市民協働に関するまちづくり研修】</p> <p>2 遠敷地区まちづくり委員会が実施する「根来坂峠里山活用事業」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根来坂峠の登山道・道標・ベンチの整備等 【10/19 しがら組み施工箇所現地確認 10/21 水場フェンス設置、広場整備作業】 ・旧上根来小学校跡地等を活用した自然体験教室や自然再生を学ぶイベントの実施 【9/16 都会と田舎の若者による「まちむら交流会」で里山利用の勉強会を開催 15名参加 10/27 自然エネルギー推進自然学校フォーラムin関西との交流会 上根来の集落内散策、地域おこしミニ講演会、しがら組み試験作業など】 ・自生アブラギリから塗料（ニス）等を試作、収益モデルを開発し、その手法を他地区にフィードバック 【9/6 アブラギリの圧搾を試行（若狭東高校） 10/24 アブラギリ収集協力依頼チラシ配付とアブラギリ収集かごの設置】 	2,000
				合計（市町分）	16,007
				総合計	50,642